

各 位

平成 22 年 6 月 7 日
株式会社大広
総務局広報部

ママを 5 タイプに分類、分析。
「自分も大切ママ」は「子ども手当」を家族で利用する意向が強く、
ママ全体では、金額ベースで 6 割が貯蓄に。
～大広くちびファミ・ラボ＞3～5歳児ママ調査～

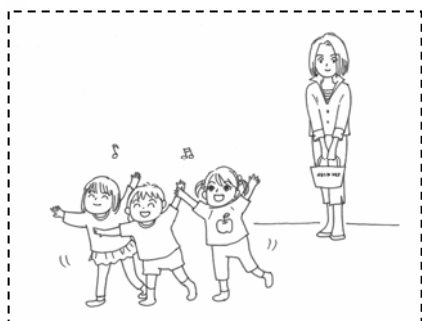
株式会社大広(社長:高野功)は社内プロジェクト「ちびファミ・ラボ」※において、弊社 R&D 局と共同で長子3～5歳児の母親を対象にした調査を実施。調査で得られた結果を基に「子育てに対する意識」からママを5つのクラスター(タイプ)に分類し、クラスターごとの「子ども手当」や「食事」などの意識・消費傾向をまとめました。今後、ちびファミ・ラボではこのクラスター分類を活用したプランニングを行っていきます。

※ 妊娠中の夫婦(プレママ&プレパパ)、そして0～6歳の乳幼児の親(パパ&ママ)の育児に関する意識と行動を把握し、リアリティのあるインサイトと、データに基づいた提案を行うことで同領域のマーケティング活動を行う取引先のマーケティングソリューションパートナーを目指すプロジェクトです。

[ママタイプ]

■子育てママを、5つのクラスター(タイプ)に分類。

タイプ1(構成比:24.0%)



子どものためになることなら
何でもしっかりと。

「真面目に子育てママ」

タイプ2(構成比:19.6%)



せっかくの子育て、
ママも一緒に楽しみたい!

「エンジョイ子育てママ」

タイプ3(構成比:28.2%)



ちゃんと調べて、
そつなく子育て。

「平均マニュアルママ」

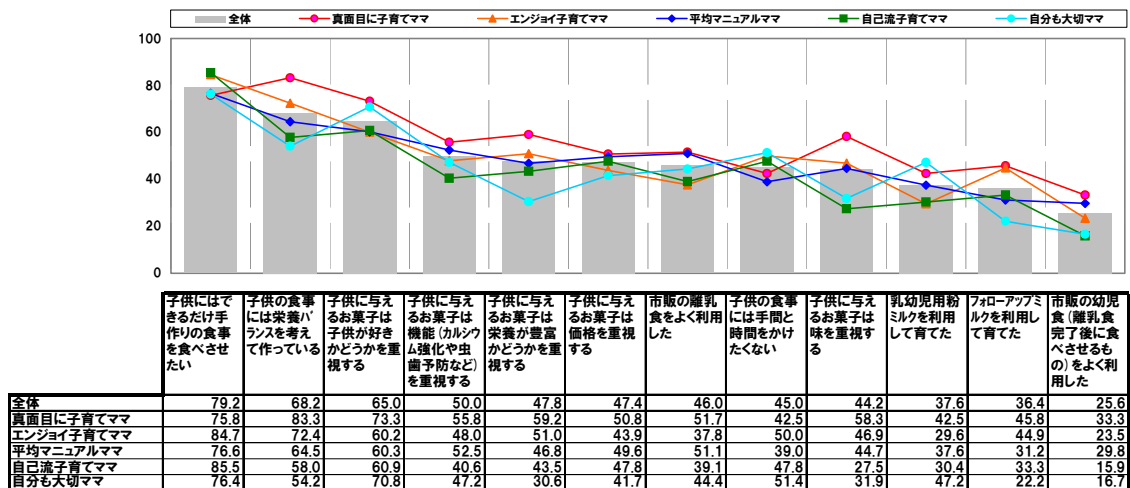
■食事について

栄養バランスと味を重視する「真面目に子育てママ」。

時間を省きたい「自分も大切ママ」

クラスターごとに子どもの食事に対する意識が異なります。「真面目に子育てママ」は食事の栄養バランスを重視する一方で、お菓子の味も重視する傾向が見られます。「自分も大切ママ」は他クラスターより「子どもの食事に手間や時間を掛けたくない」という意識が高くなっています。

Q. お子様のお食事などについてお伺いいたします。



■子ども手当について

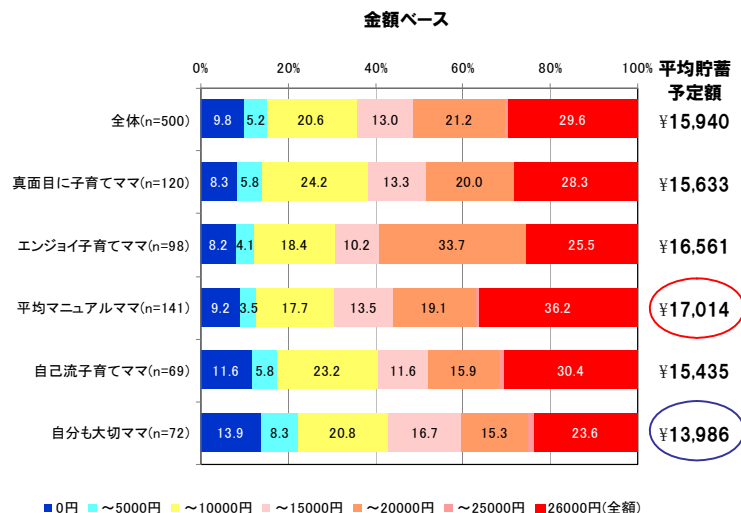
金額ベースで全体の61%が貯蓄へ回る。

「自分も大切ママ」は貯蓄率が低めで、レジャーなどへの利用がやや多い傾向。

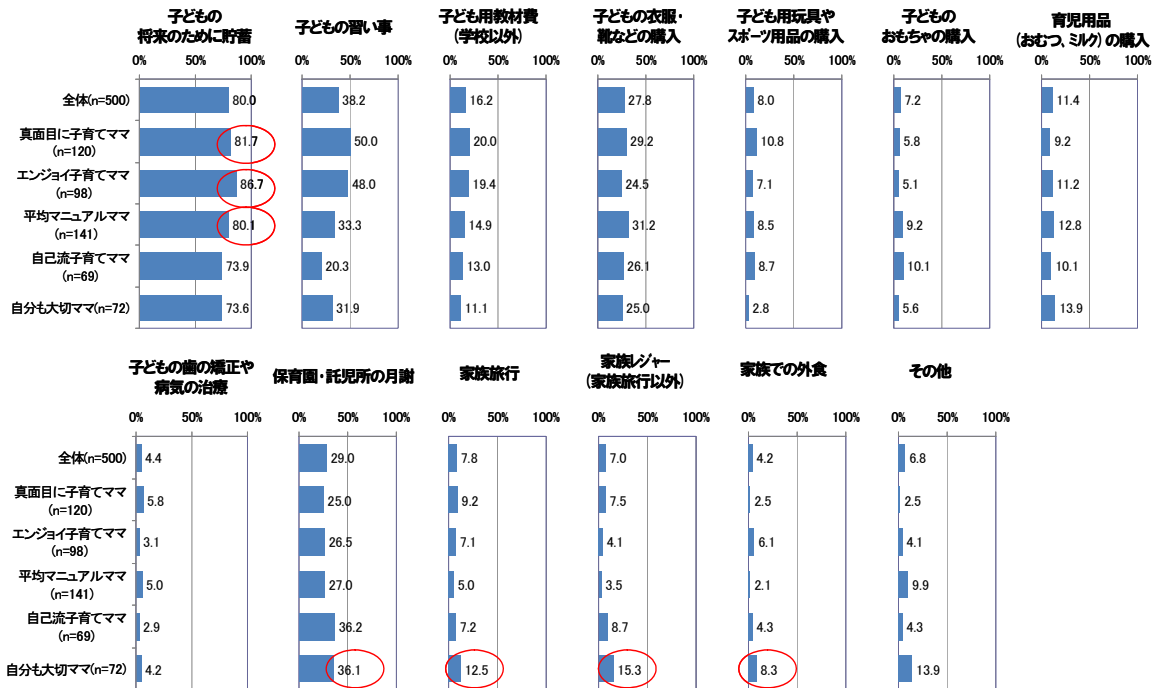
子ども手当が満額(26,000円)支給された場合の使い途については、いずれのクラスターでも「貯蓄にまわす」という回答が高くなっています。全体のほぼ3割が「26,000円全額」を貯蓄すると回答しており、全体の平均額は15,940円で、金額ベースで61%が貯蓄に回すとしています。

なお、クラスターごとに見ると、「自分も大切ママ」では貯蓄率がやや低く、「家族旅行」「家族レジャー」「家族での外食」などの家族団らんに子ども手当を使いたいという意識が高くなっています。

Q 子ども手当が26,000円支給されたら、あなたはその手当のうち、いくらを貯蓄に回すと思いますか？



Q.子ども手当が支給されたら、どんなことに使いたいと考えていますか？



【調査概要】

調査対象	全国の長子が3～5歳の子供を持つ母親 500名 → 予備調査を事前に行い対象者を抽出。条件にあった回答者へ本調査への協力を依頼。
調査手法	○インターネット調査で実施 (ネット調査会社の調査パネルを利用)
実施時期	○2009年12月実施

【分析 STEP】

A. 20 問の子育て意識項目を因子分析 → 6つの因子を抽出

【子育て意識項目】

- ママという役割を楽しみたい
- 子育ては子供だけでなく自分も楽しめることが重要だと思う
- 自信をもって子育てしている
- 子供が生まれてから地球環境への意識が高まった
- 子供が生まれても自分の時間は大事にしたい
- 子供が生まれたことで自由がなくなってしまった
- 子育てに掛ける時間はなるべく短くしたい
- 子育てに縛られずに世の中と接点を持っていたい
- 子育てを合理化できる商品は積極的に利用したい
- 子供に対して自分は過保護なほうだと思う
- 子供はかわいいのでつつい甘やかしてしまう
- 子どものことを優先するあまり他の事が見えなくなってしまう
- 権威のある専門家の意見を子育ての参考にしている
- 育児雑誌や専門書を子育ての参考にすることが多い
- 子育てには完璧を求めらるほうである
- 子供の習い事やお稽古事に関心がある
- 子供の教育には可能な限りお金を掛けたい
- 子どもの躰のためには自分が憎まれ役になることも必要であると思う
- 自分や夫のことよりも子供のことを優先している
- 子育て中に好きなことができないのは仕方ないと思う

第1因子「楽しみ」因子

自分自身が「子育て(ママ)を楽しみたい」という意識

第2因子「自分時間」因子

ママになっても「自分の時間を持ちたい」という意識

第3因子「甘やかし」因子

子供はかわいいので、「過保護になってしまう」という意識

第4因子「マニュアル」因子

「専門家や専門書などに頼りたい」という意識

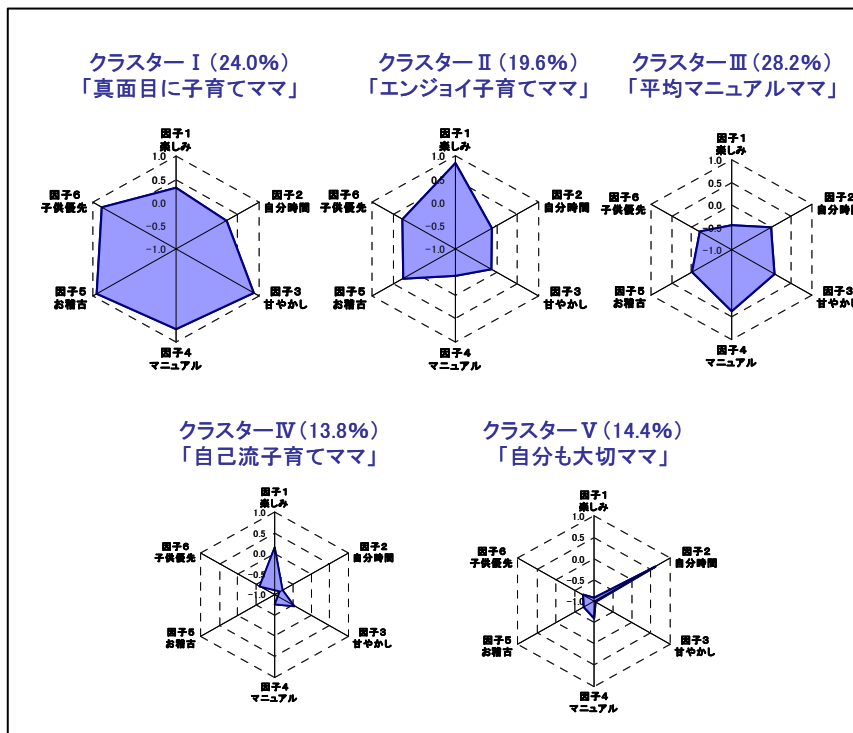
第5因子「お稽古」因子

「子供の習い事や教育への関心が高い」という意識

第6因子「子供優先」因子

「自分や夫よりも子供を優先する」という意識

B. 因子得点を利用したクラスター分析 → 5つのクラスターに分類



以上

この件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社大広 総務局広報部 遠藤、長谷川

TEL:03-6364-8601